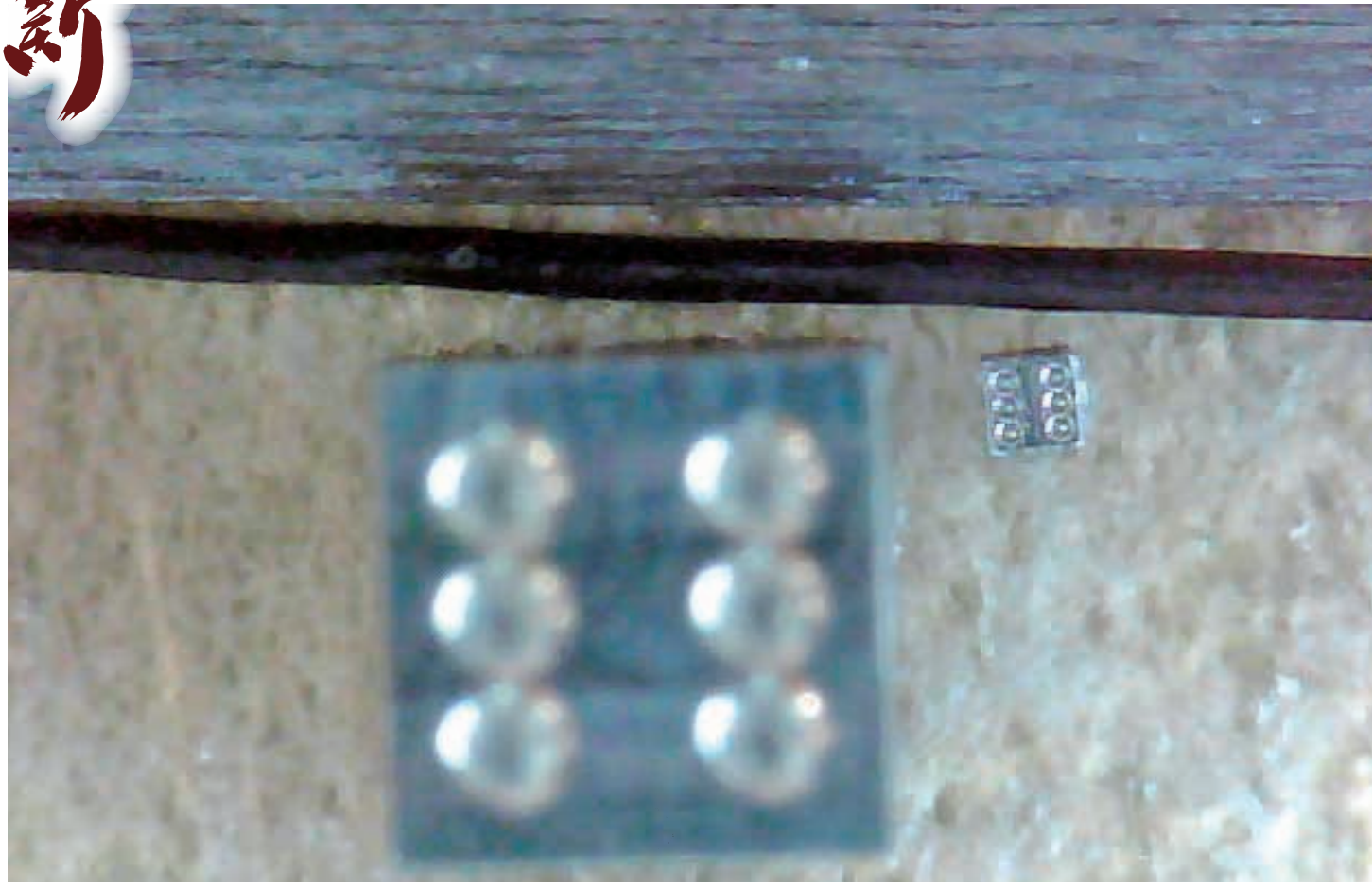


キリシマ精工株式会社

平成 25 年度 補正予算事業

医療関連分野進出による高精度加工要求に対応するためのNC複合自動旋盤機の導入

弊社は精密金属部品の微細加工を主力としており、今後さらに需要が見込まれる医療関連分野への本格参入を目指し、試作・加工を始めている。「NC複合自動旋盤機」を導入し、工程数半減、高精度加工ニーズへの対応、新規取引先の獲得を図る。



世界最小0.2mmサイコロ(右)(左は1mm)

事業のきっかけと目的

Motivation

海外との競争が増え、主たる受注加工である光通信・半導体関係の受注量が減少傾向にある。今後、成長が見込まれる医療・ヘルスケア分野に参入して新規取引先を獲得し、受注増による増収を図る。米国での医療機器関連展示会に出展したところ、海外ユーザーより問合せ・見積依頼があり、自社技術による商品化が可能と判断したため、試作開発に取り組むことにした。

事業の取り組み内容と成果

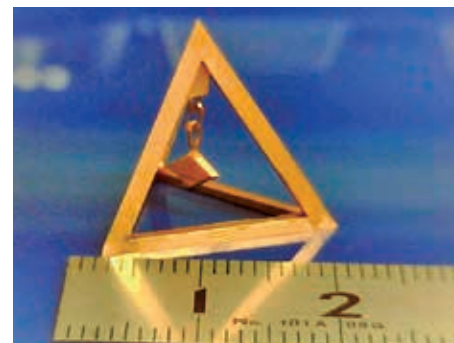
Progress

顧客の要求する複雑形状や高精度の加工要求に応えるためには、既存の設備では加工用の刃物取付け本数が少なく、NC自動旋盤で加工後、さらにNCマシニング加工を行う必要があった。NC複合自動旋盤機を導入したことで、複雑形状に対応し、精度の向上、加工所要時間と納期短縮も実現した。価格抑制にもつながり、取引先の満足度が高まることで市場の広がりが予想される。

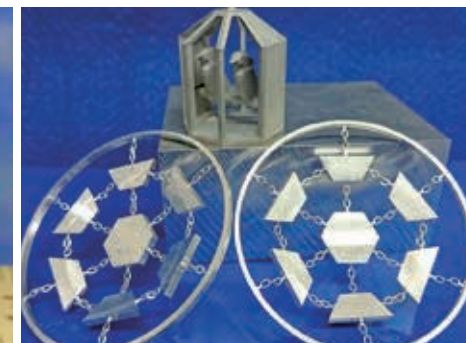
キリシマ精工株式会社の思い



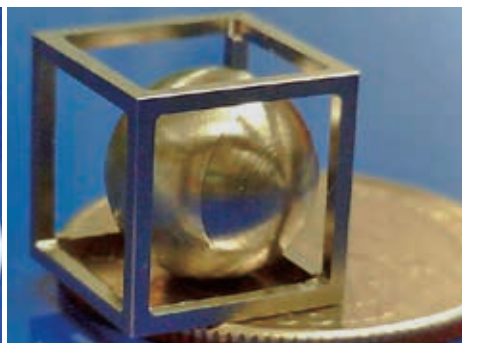
お客様に対して、出来ないではなくチャレンジさせて下さいの姿勢を持ち、前向きに挑戦させて頂くことにより新規顧客拡大に繋がっています。
日々のスピーディに行う姿勢とカイゼンにより培った技術力と品質管理の徹底で、お客様の信頼・信用が第一をテーマに掲げ精進しております。



削り出しピラミッド



一体物①



一体物②

事業化に向けての今後の取り組み

Future

今後の事業に向けて、半導体関係金属部品・光通信関係金属部品・医療関係金属部品・衛星関係金属部品を始め、その他のあらゆる分野の金属部品に取り組んでいく。

また、金属部品だけにとらわれることなく、その他の分野の関連事業に取り組んでいき、自社ブランドの加工技術の確立とレベルアップを図ることにより、顧客に満足される技術の確立とレベルアップを目指していく。



企業の生い立ち

平成28年8月で設立から10年目となるが、昨年は南日本新聞経済賞を頂いたり、各種マスコミ等に取り上げて頂き、精密で微細加工が得意な会社としてアピールしてきた。

これも地域の皆様のお蔭と感謝するとともに、今後も地域に貢献出来るように、頑張っていきたいと考えている。



社屋

事業者	キリシマ精工株式会社
代表者	西重 保
設立年月日	平成18年8月1日
所在地等	〒899-4308 霧島市国分川原918-7 TEL 0995-73-4311 FAX 0995-73-4313 E-mail nishishige@kirishima-seiko.jp URL http://www.kirishima-seiko.jp
事業の種類	ものづくり技術
資本金額	1,000万円
従業員数	30名
業種	精密金属加工業